

歴史災害の教訓はいかされたのか? ~2011年東北地方大津波の聞き取り調査から~

林 能成 (関西大学社会安全学部)

Could we learn from past tsunami lessons ?

Yoshinari Hayashi (Faculty of Safety Science, Kansai University)

図1は岩手県および宮城県沿岸の市町村単位で、東北地方太平洋沖地震による死者・行方不明者率と明治三陸地震による死者・行方不明者率を比較した図である。死亡率の絶対値は両者で大きく異なるが、明治のときに想定的に被害が小さかった町で平成では被害が大きく傾向が見られる。図2は Ando *et al.*(2011)[投稿中]による、すべり分布・津波波高・人的被害の比較であるが、宮古以北において津波波高が高いにもかかわらず人的被害が少ない傾向が見られる。これらの図から何らかの教訓がいかにされたかと推察されるが、2011年4月および6月に行った聞き取り調査では、1960年チリ津波の被害に言及する人はいても、明治および昭和の津波について明示的に言及する人はほとんどいなかった。

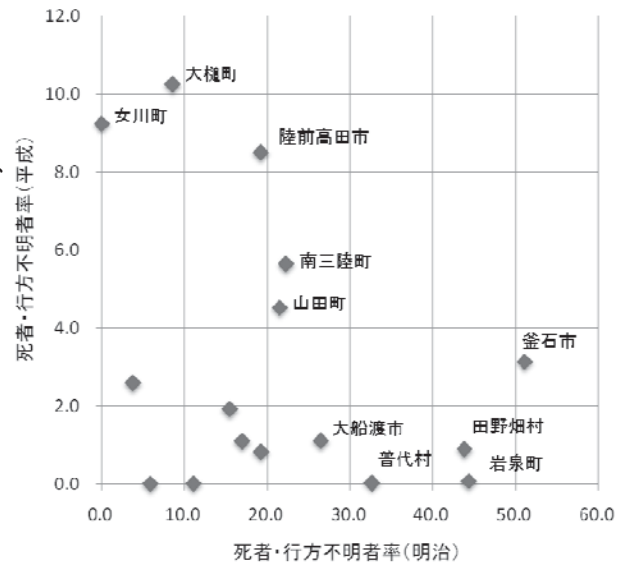


図1 平成津波と明治津波の市町村毎の死者・行方不明者率の比較

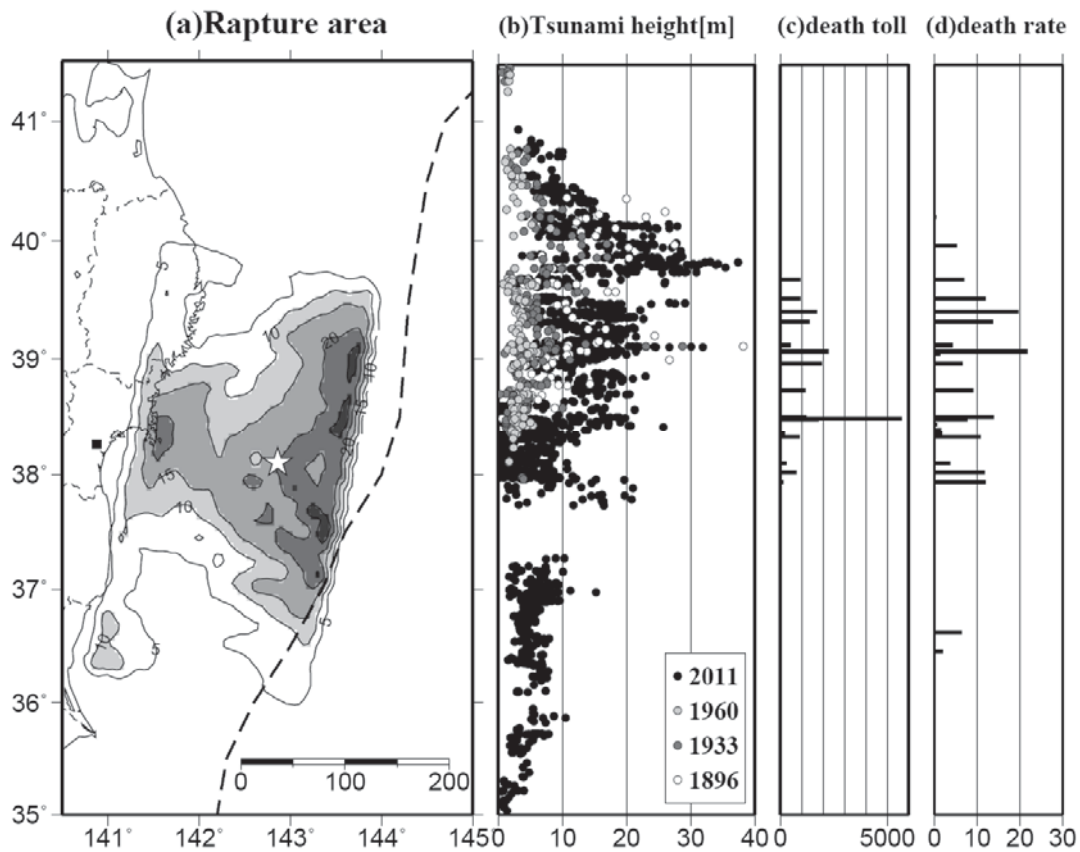


図2 断層のすべり分布 (Ide *et al.*, 2011) と津波波高・死者数・死亡率